

2018年12月19日 全8頁

Indicators Update

2018年11月貿易統計

輸出数量は特殊要因を均せば、ほぼ横ばい。ただし基調は弱い

経済調査部
研究員 廣野 洋太
エコノミスト 小林 俊介

[要約]

- 11月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+0.1%と前月（同+8.2%）からプラス幅が縮小、輸入金額も同+12.5%と前月（同+19.9%）からプラス幅が縮小した。貿易収支は▲7,373億円と2ヶ月連続の赤字となった。
- 輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲2.6%と減少した。地域別では、米国向け（同▲3.6%）、EU向け（同▲1.6%）、アジア向け（同▲2.8%）など総じて減少。米国では、鉄鋼の減少が大きかった。10月の反動が出たものとみられる。もっとも、鉄鋼は2014年末ごろからトレンドとして減少傾向であった上に、最近追加関税の影響で軟調である。EUでは、半導体等製造装置が全体を押し下げた。EU向け半導体等製造装置は、2018年の中ごろに急増していたものの、すでにピークアウトしており、2017年後半の水準まで減少している。アジアでは、船舶が大きく伸びたものの、自動車の減少が全体を下押しした。アジア向け自動車は、18年に入り振れが大きくなっているが、均して見れば軟調な推移が続いている。

図表1：貿易統計の概況（原系列、前年比、%）

	2018年									
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
輸出金額	2.1	7.8	8.1	6.7	3.9	6.6	▲1.3	8.2	0.1	
コンセンサス									1.2	
DIR予想									1.2	
輸入金額	▲0.5	6.0	14.1	2.6	14.7	15.5	7.1	19.9	12.5	
輸出数量	3.6	7.2	6.4	3.2	0.9	1.1	▲4.9	3.8	▲1.9	
価格	▲1.4	0.5	1.5	3.4	3.0	5.4	3.7	4.3	2.1	
輸入数量	▲4.2	2.1	6.6	▲4.5	4.0	4.5	▲2.7	10.3	4.2	
価格	3.9	3.8	7.0	7.5	10.2	10.5	10.1	8.7	7.9	
貿易収支	7,933	6,208	▲5,833	7,184	▲2,350	▲4,488	1,265	▲4,501	▲7,373	
税関長公示レート	106.56	106.31	109.08	109.86	110.78	111.33	111.13	112.90	112.99	

（注1）貿易収支は億円。税関長公示レートは円/ドルレート。

（注2）コンセンサスはBloomberg。

（出所）財務省、Bloombergより大和総研作成

輸出金額は数量要因によってプラス幅が縮小

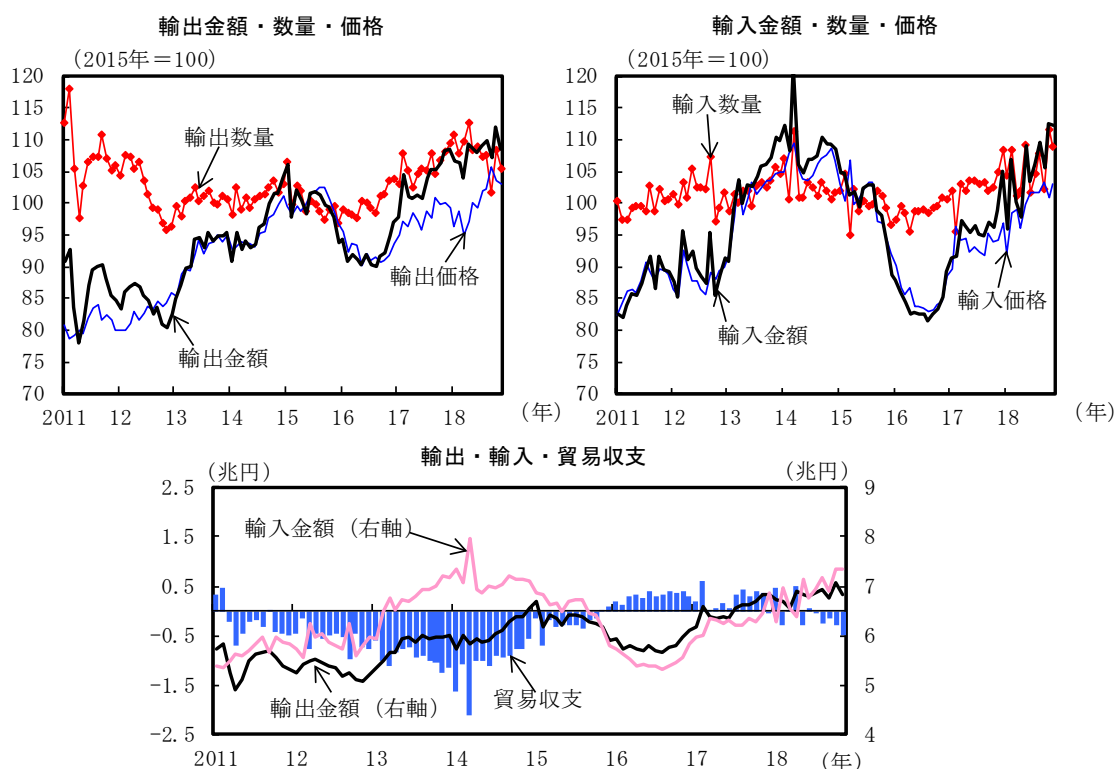
2018年11月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+0.1%と前月（同+8.2%）からプラス幅が縮小、輸入金額も同+12.5%と前月（同+19.9%）からプラス幅が縮小した。貿易収支は▲7,373億円と2ヶ月連続の赤字となった。

輸出金額を数量要因と価格要因に分解すると、数量要因は前年比▲1.9%と前月（同+3.8%）からマイナス転換した。自動車の輸出数量がマイナス転換したことが影響した。価格要因については同+2.1%と前月（同+4.3%）からプラス幅が縮小している。輸出価格については、医薬品の単価がマイナス転換したことがプラス幅の縮小に寄与した。

輸入金額を数量要因と価格要因に分解すると、数量要因は前年比+4.2%と前月（同+10.3%）からプラス幅が縮小している。価格要因についても同+7.9%と前月（同+8.7%）からプラス幅が縮小している。輸入数量を商品別に見ると、非鉄金属鉱が前月からマイナス転換した影響が大きかったようだ。価格要因については、半導体電子部品のうちICの前年比プラス幅の縮小が影響したものとみられる。

なお季節調整値で見ると、輸出金額は前月比▲3.0%、輸入金額は同▲0.1%となった結果、貿易収支は▲4,922億円と5ヶ月連続の赤字となった。

図表2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

原油価格の変動が貿易収支に与える影響は大きい

貿易収支については、2017 年末ごろから、輸入金額の増加と比較して輸出金額が軟調な推移となったことから、赤字を記録する月が見られるようになった。2017 年末から足下の輸入金額を数量要因と価格要因に分解すると、数量要因の振れが大きいものの、主に価格要因が押し上げ要因となっている。輸入価格上昇の背景には原油価格の上昇があったものとみられる。

ただし足下では原油価格が大きく低下している。原油価格の低下が貿易収支に与える影響はどの程度であろうか。まず、2017 年の原油及び粗油の輸入額は 7.2 兆円であるのに対し、2017 年の貿易収支は+2.9 兆円の黒字である。規模感を見るだけでも、原油価格の変動が貿易収支に与える影響が大きいことが分かる。

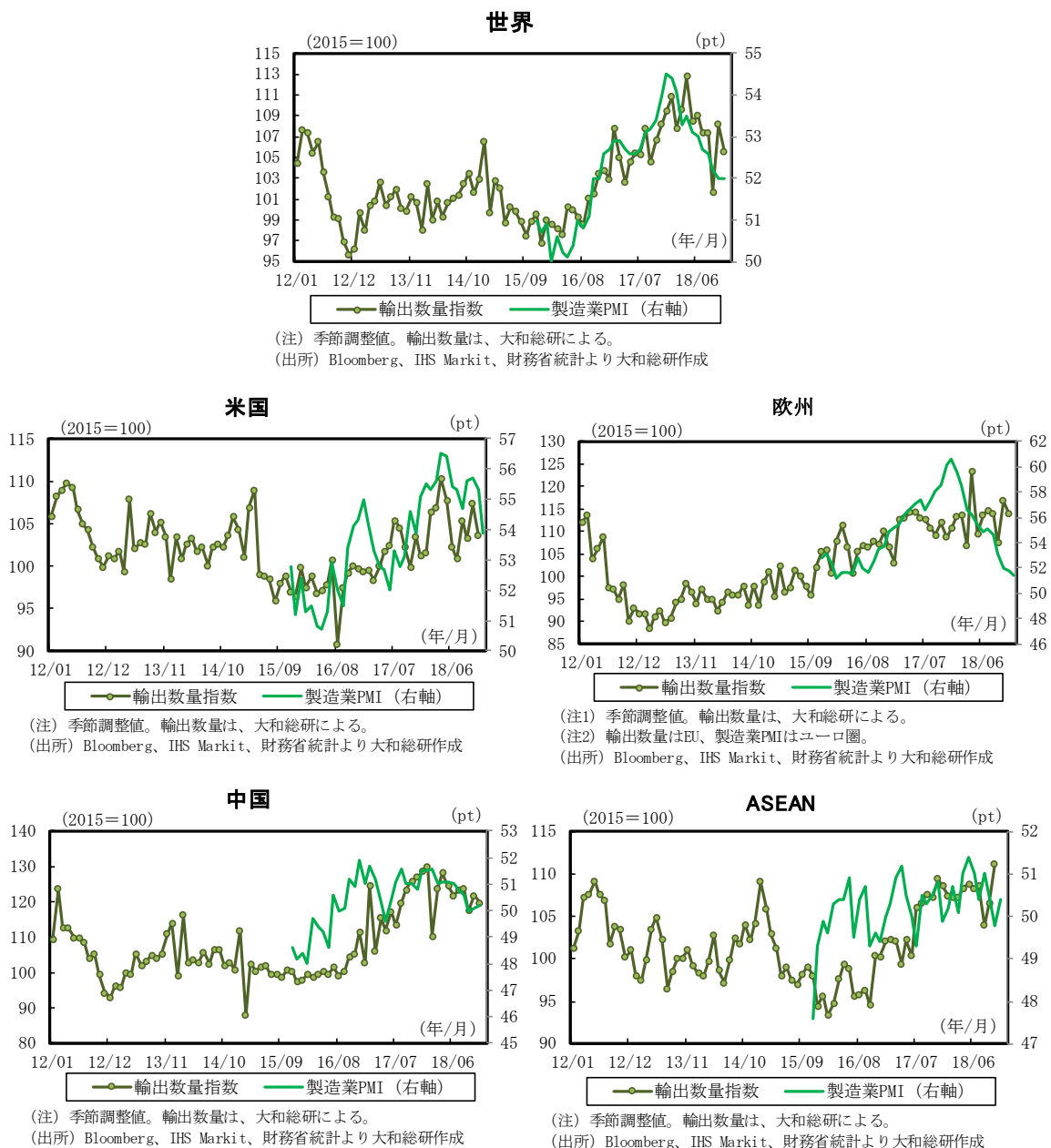
また、WTI は 2018 年夏ごろに 70 ドル/bbl 付近まで上昇していたのが、足下では 50 ドル/bbl を割る水準まで約 30%低下している。仮に、原油及び粗油の輸入数量に変化がなく、価格が 30%低下したとすると、2017 年の貿易収支は+5.0 兆円の黒字となり、黒字が約 70%拡大することになる。この計算はあくまで機械的なものではあるが、原油安が貿易収支に与える影響は相当程度大きいと予想される。

輸出数量は特殊要因を均せば、ほぼ横ばい。ただし基調は弱い

輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲2.6%と減少した。10月の自然災害からの反動を均すと、11月の輸出数量は、9月・10月平均比+0.4%と微増となる。ただし、水準については17年末ごろの高水準を下回っており、ピークアウト感がある。

地域別では、米国向け（前月比▲3.6%）、EU向け（同▲1.6%）、アジア向け（同▲2.8%）など総じて減少。ヘッドラインと同様に、自然災害からの反動を均すと、米国向け（9月・10月平均比▲1.6%）、アジア向け（同▲0.5%）は減少したものの、EU向け（同+2.6%）は増加している。

図表3：世界の製造業PMIと輸出数量



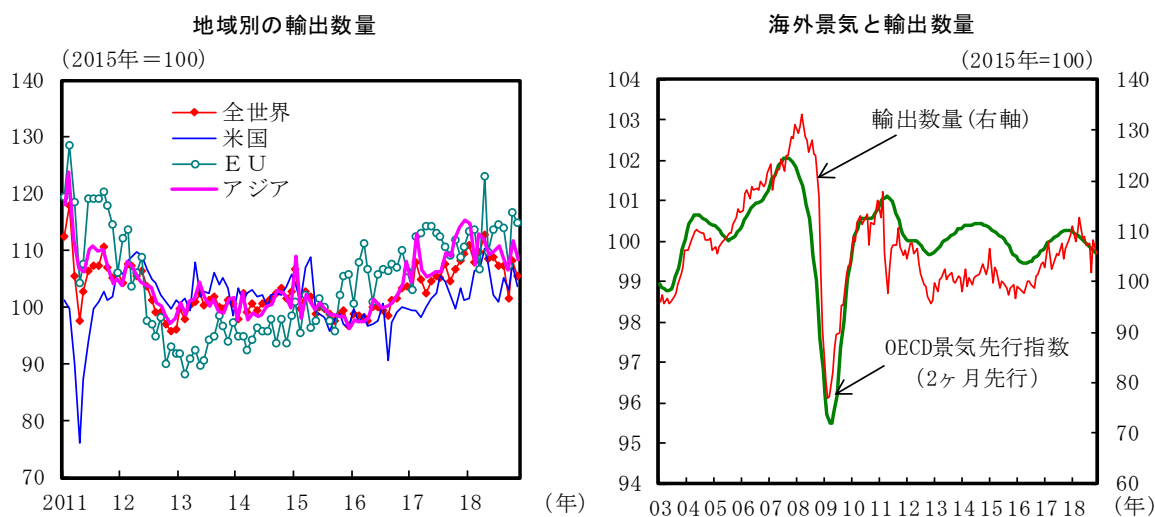
米国では、鉄鋼の減少が大きかった。10月の大幅増の反動が出たものとみられる。もっとも、鉄鋼は2014年末ごろからトレンドとして減少傾向であった上に、最近追加関税の影響で軟調である。EUでは、半導体等製造装置が全体を押し下げた。EU向け半導体等製造装置は、2018年の中ごろに急増していたものの、すでにピークアウトしており、2017年後半の水準まで減少している。アジアでは、船舶が大きく伸びたものの、自動車の減少が全体を下押しした。アジア向け自動車は、18年に入り振れが大きくなっているが、均して見れば軟調な推移が続いている。

輸出数量の見通しは緩やかな減少

先行きの輸出数量について、緩やかに減少するとみている。2017年の輸出は、米国を中心とした在庫循環上の回復が押し上げ要因となってきたが、足下では剥落しており、今後調整局面を迎える可能性が高い。

また、米国を中心とする保護貿易の流れには注意が必要である。米中間の貿易摩擦の激化は、日本のハイテク関連産業に影響を及ぼす可能性があるが、日本にとっての懸念材料は米国との物品貿易協定（TAG）に向けた二国間交渉だろう。日本側は、TAGはFTAとは異なると主張する一方、米国側ではFTA締結を目指すといった発言が見られるなど、見解には相違がある。日本にとって最重要課題であった米国の自動車関税については当面棚上げとなったが、先行きには注意が必要である。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



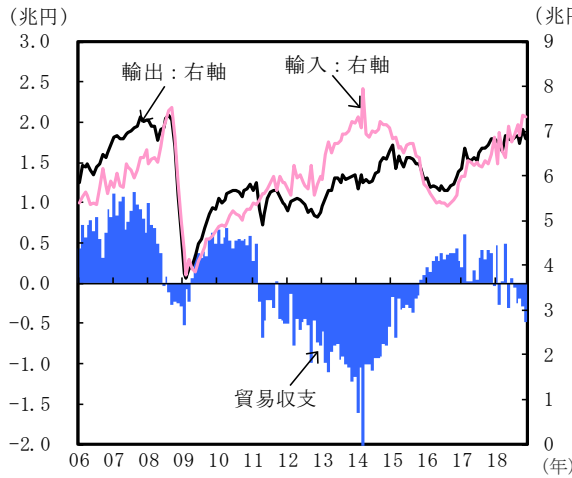
(注1) OECD景気先行指数（CLI）はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

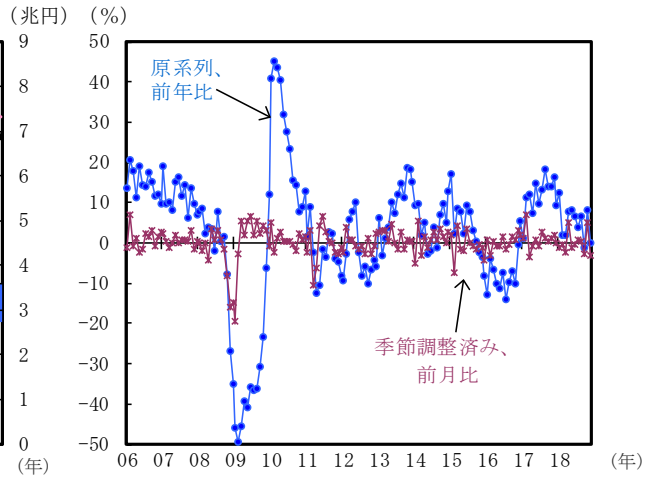
概況

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

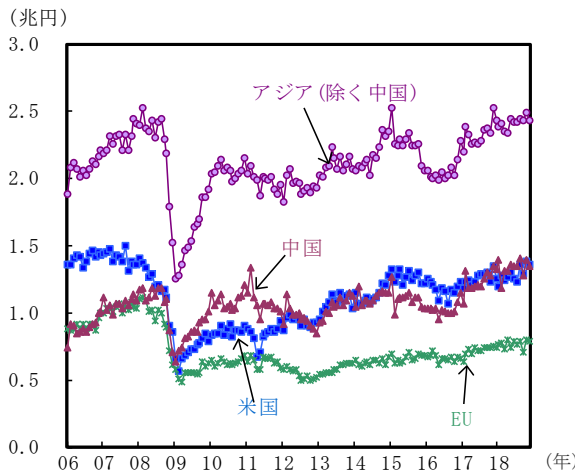


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）

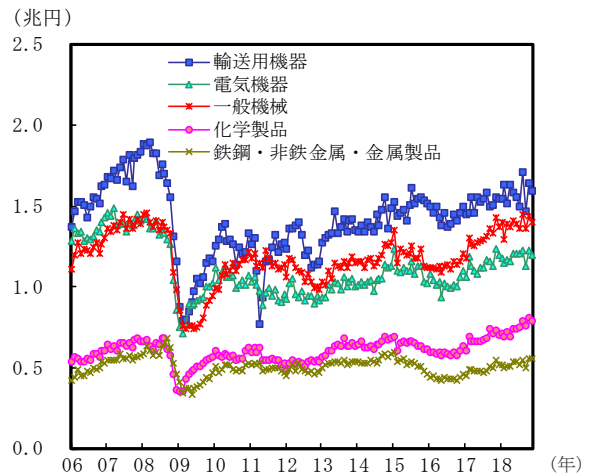


主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

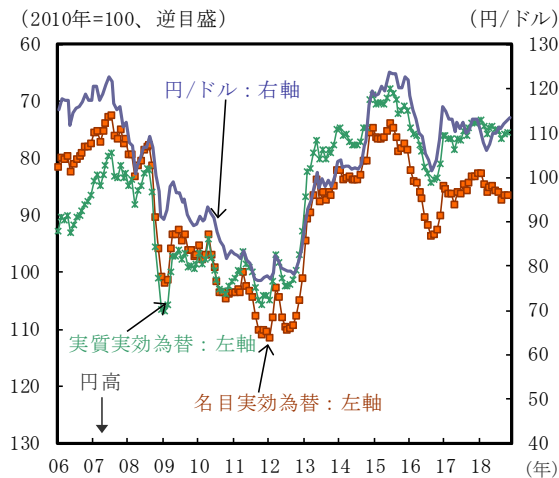


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

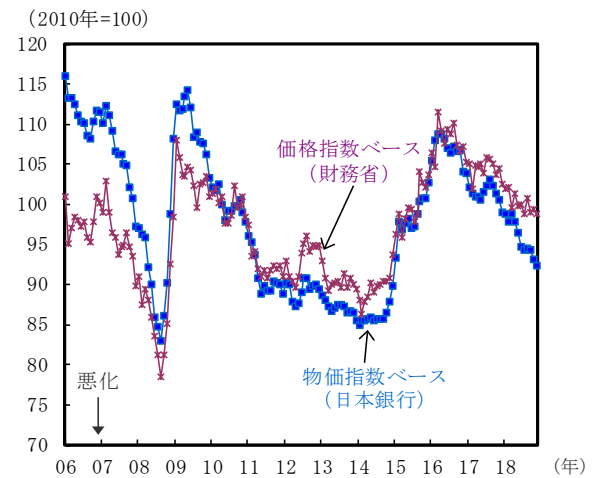
主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）



為替相場



交易条件



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

輸出金額 内訳								
	2018/06	2018/07	2018/08	2018/09	2018/10	2018/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	6.7	3.9	6.6	▲1.3	8.2	0.1	100.0	0.1
食料品	21.7	21.7	20.1	18.3	14.6	11.3	1.0	0.1
原料品	10.4	6.8	0.7	▲2.9	7.2	1.3	1.4	0.0
鉱物性燃料	17.3	43.1	7.6	32.9	22.2	▲1.6	1.4	▲0.0
化学製品	11.6	10.9	15.1	3.1	13.5	8.2	11.2	0.8
原料別製品	9.5	7.1	10.5	▲2.3	9.2	3.0	11.2	0.3
鉄鋼	7.2	11.2	13.4	0.5	13.5	2.9	4.3	0.1
非鉄金属	19.4	9.6	13.7	▲7.6	7.3	0.4	1.7	0.0
金属製品	13.4	5.7	9.6	▲2.4	7.0	3.8	1.6	0.1
一般機械	8.4	4.8	9.7	0.1	7.7	▲2.3	19.4	▲0.4
電気機器	8.1	7.1	5.6	▲2.6	8.2	▲2.7	17.3	▲0.5
半導体等電子部品	9.0	8.0	4.2	▲1.7	10.5	▲0.1	5.2	▲0.0
I C	9.3	9.7	4.4	▲3.4	12.3	1.2	3.7	0.0
映像記録・再生機器	5.0	▲8.9	▲11.8	▲2.3	▲15.9	1.3	0.5	0.0
音響・映像機器の部分品	▲14.4	17.1	▲23.7	▲13.0	▲9.2	▲23.1	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	1.6	1.8	8.2	▲5.8	2.6	▲2.0	2.6	▲0.1
輸送用機器	2.7	▲4.0	8.4	▲2.2	9.0	2.5	24.0	0.6
自動車	▲1.0	▲2.8	5.3	▲4.7	7.3	▲0.5	15.9	▲0.1
自動車の部分品	8.4	0.8	3.8	3.2	5.9	▲3.7	4.8	▲0.2
その他	2.0	▲0.4	▲8.5	▲7.4	1.3	▲5.8	13.2	▲0.8
科学光学機器	▲3.0	▲2.6	▲2.4	▲3.3	▲3.6	▲7.3	2.9	▲0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2018/06	2018/07	2018/08	2018/09	2018/10	2018/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲0.9	▲5.2	5.3	▲0.5	11.6	1.6	100.0	1.6
食料品	10.8	6.6	18.8	5.4	▲1.0	6.3	0.7	0.0
原料品	25.3	▲7.4	7.4	▲7.8	20.6	28.6	0.4	0.1
鉱物性燃料	131.0	61.3	62.7	▲50.8	▲85.3	13.7	0.2	0.0
化学製品	9.9	18.1	30.3	2.6	27.3	2.4	6.0	0.1
原料別製品	1.8	0.8	4.3	▲3.1	8.6	▲0.0	5.9	▲0.0
鉄鋼	▲17.1	▲12.0	▲15.9	▲13.7	14.1	6.0	1.2	0.1
非鉄金属	31.7	20.0	33.7	4.6	16.7	▲0.8	0.6	▲0.0
金属製品	1.5	10.3	12.2	▲1.5	▲2.5	▲10.5	1.4	▲0.2
一般機械	0.1	▲8.3	8.5	0.3	13.5	7.3	22.7	1.6
電気機器	6.4	3.8	4.0	0.5	15.2	▲0.8	12.5	▲0.1
半導体等電子部品	7.8	1.4	▲2.3	▲9.0	▲8.9	▲19.5	1.3	▲0.3
I C	▲7.2	▲4.8	▲9.3	▲12.5	▲8.9	▲13.9	0.6	▲0.1
映像記録・再生機器	25.3	▲4.0	▲4.1	33.4	10.0	2.9	0.7	0.0
音響・映像機器の部分品	▲9.1	49.9	▲63.0	2.9	▲37.6	7.8	0.2	0.0
電気回路等の機器	5.8	0.7	10.3	▲0.1	17.6	8.3	1.4	0.1
輸送用機器	▲9.9	▲11.8	▲0.9	▲0.7	7.9	▲4.9	40.7	▲2.2
自動車	▲12.0	▲12.1	▲1.5	0.2	7.6	▲5.2	31.8	▲1.8
自動車の部分品	▲0.1	▲15.2	▲1.5	▲5.5	▲2.5	▲7.8	5.6	▲0.5
その他	9.3	▲3.6	3.8	▲1.5	15.3	21.7	10.9	2.0
科学光学機器	▲3.2	▲7.0	2.8	0.9	6.5	9.7	2.3	0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2018/06	2018/07	2018/08	2018/09	2018/10	2018/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.3	6.4	7.1	▲4.4	7.7	3.9	100.0	3.9
食料品	10.7	18.1	3.8	▲0.8	46.5	11.8	0.4	0.0
原料品	19.3	22.1	9.2	▲2.0	▲5.5	35.3	1.0	0.3
鉱物性燃料	15.7	126.2	47.2	79.7	176.6	28.2	0.4	0.1
化学製品	14.5	15.1	17.4	12.8	5.5	5.0	9.1	0.4
原料別製品	12.8	17.4	12.5	▲3.5	5.3	4.2	6.2	0.3
鉄鋼	▲0.3	22.8	25.7	▲11.7	▲9.3	▲3.5	0.7	▲0.0
非鉄金属	22.5	40.4	33.4	21.7	21.8	0.4	0.9	0.0
金属製品	7.6	11.0	17.0	▲2.3	13.2	15.2	1.5	0.2
一般機械	13.1	7.8	5.4	▲0.3	9.4	0.2	23.3	0.1
電気機器	8.8	7.3	2.9	▲0.8	7.8	5.8	17.9	1.0
半導体等電子部品	3.6	▲0.7	▲4.3	▲8.4	▲5.2	▲7.6	2.0	▲0.2
I C	▲7.7	▲10.2	▲14.8	▲18.3	▲9.3	▲15.8	1.0	▲0.2
映像記録・再生機器	8.3	▲13.2	▲17.0	▲12.8	▲10.3	30.5	1.0	0.3
音響・映像機器の部分品	19.3	8.4	▲7.4	▲10.9	▲16.2	▲6.2	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	9.8	3.3	▲3.0	▲10.0	4.4	1.0	1.7	0.0
輸送用機器	6.2	▲7.3	17.8	▲17.6	▲1.1	0.3	24.4	0.1
自動車	▲17.4	▲7.5	18.2	▲23.8	0.0	1.1	15.0	0.2
自動車の部分品	5.7	▲2.1	1.2	▲1.2	4.8	▲15.1	5.3	▲1.0
その他	4.7	10.7	▲9.3	▲3.6	19.4	10.0	17.4	1.6
科学光学機器	3.6	▲1.5	1.0	5.1	9.4	12.2	3.6	0.4

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2018/06	2018/07	2018/08	2018/09	2018/10	2018/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	8.6	8.0	6.9	0.9	7.3	▲1.9	100.0	▲1.9
食料品	25.5	26.6	21.9	22.6	17.5	15.7	1.4	0.2
原料品	7.9	7.0	▲2.0	▲3.3	6.5	▲3.2	2.1	▲0.1
鉱物性燃料	▲15.5	29.9	▲10.0	47.7	60.7	0.6	1.7	0.0
化学製品	11.4	9.2	15.1	2.7	12.7	9.4	15.4	1.3
原料別製品	13.3	8.4	13.6	▲0.6	7.7	2.2	14.3	0.3
鉄鋼	12.8	13.6	20.6	5.8	12.1	1.4	5.9	0.1
非鉄金属	19.5	7.7	11.6	▲9.2	6.0	▲0.1	2.7	▲0.0
金属製品	18.6	4.2	6.2	▲5.1	2.7	4.9	1.7	0.1
一般機械	9.4	9.2	12.1	1.4	3.9	▲7.4	18.6	▲1.5
電気機器	8.2	8.4	5.7	▲3.5	6.9	▲4.4	21.8	▲1.0
半導体等電子部品	9.3	9.0	5.0	▲0.7	12.6	1.6	8.5	0.1
IC	11.0	11.3	5.9	▲2.3	14.2	2.4	6.3	0.1
映像記録・再生機器	▲5.1	▲7.8	▲12.7	▲16.0	▲29.8	▲13.0	0.4	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲22.5	0.2	▲16.7	▲17.4	▲3.5	▲29.1	0.4	▲0.2
電気回路等の機器	0.4	2.0	9.6	▲5.6	1.2	▲4.1	3.6	▲0.1
輸送用機器	5.7	6.4	1.2	6.8	12.9	2.0	9.9	0.2
自動車	3.3	7.1	10.8	3.9	19.2	▲8.2	4.7	▲0.4
自動車の部分品	19.4	11.0	6.5	14.2	14.2	7.0	4.1	0.3
その他	4.3	2.7	▲5.3	▲1.9	▲1.7	▲9.0	14.9	▲1.4
科学光学機器	▲4.3	▲1.4	▲4.0	▲6.3	▲7.4	▲14.3	3.4	▲0.6

中国向け輸出金額 内訳								
	2018/06	2018/07	2018/08	2018/09	2018/10	2018/11		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	11.1	11.9	12.1	▲1.7	9.0	0.4	100.0	0.4
食料品	69.8	64.7	34.7	76.5	47.2	34.6	0.6	0.2
原料品	▲2.4	▲2.6	▲12.4	▲9.5	9.7	2.0	2.9	0.1
鉱物性燃料	▲17.0	74.2	89.0	77.6	88.4	94.6	1.5	0.7
化学製品	14.2	12.8	17.2	0.4	16.4	10.9	16.9	1.7
原料別製品	9.9	▲0.5	9.8	▲6.5	2.1	0.0	11.1	0.0
鉄鋼	1.9	3.7	13.8	▲1.1	12.3	13.8	3.7	0.4
非鉄金属	26.0	▲11.5	11.3	▲16.1	▲4.6	▲13.4	2.1	▲0.3
金属製品	19.2	4.6	11.8	▲6.3	0.7	▲2.2	1.7	▲0.0
一般機械	22.9	27.8	29.0	12.1	9.9	▲0.7	22.2	▲0.2
電気機器	10.4	5.8	0.4	▲14.6	4.9	▲8.8	21.4	▲2.1
半導体等電子部品	27.4	13.6	▲3.8	▲23.1	17.8	4.8	7.1	0.3
IC	35.5	16.6	▲7.3	▲29.0	22.2	7.8	5.3	0.4
映像記録・再生機器	▲3.6	▲7.8	▲7.2	▲10.3	▲28.3	▲12.2	0.5	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲23.1	13.3	▲21.1	▲31.1	3.9	▲35.0	0.5	▲0.3
電気回路等の機器	0.5	▲1.0	8.9	▲15.6	▲8.3	▲13.3	3.8	▲0.6
輸送用機器	8.8	17.0	16.8	16.8	25.6	5.6	10.5	0.6
自動車	▲2.5	30.3	25.9	16.4	30.5	▲3.8	4.4	▲0.2
自動車の部分品	14.3	8.6	10.5	17.9	19.4	12.4	5.9	0.6
その他	▲6.0	2.2	▲0.2	▲14.1	▲4.2	▲4.4	12.9	▲0.6
科学光学機器	▲10.0	▲3.6	▲2.3	▲12.4	▲5.4	▲15.1	4.8	▲0.9

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。

(出所) 財務省統計より大和総研作成